

# 市長のいきいきタウントークを開催しました

10月25日(木)から27日(土)にかけて、平成24年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」が市内3会場で開催されました。

会場には3日間で延べ108名の市民の皆さんが参加され、市政に対する多くの意見・要望等が述べられました。

各会場での参加人数及び意見・要望等の内訳は下表のとおりです。いただいたご意見・ご要望等は庁内で検討し、今後のまちづくりに活かしていきます。

また、ご意見・ご要望等とそれに対する市の回答の一部を紹介しますが、全ての一覧を総合政策課(国分寺庁舎2階)及び市ホームページでご覧いただけます。

## 問い合わせ先

総合政策課 ☎(40)5550

## ご意見・ご要望等の内訳

生活基盤	7件
保健・福祉	5件
教育・文化	8件
市民生活	1件
産業	1件
行財政	6件
施設	2件
その他	2件
合計	32件

日時	会場	参加者	意見要望
10月25日(木) 午後7時～	きらら館	54名	14件
10月26日(金) 午後7時～	コミュニティセンター 友愛館	30名	16件
10月27日(土) 午前10時～	グリーンタウン コミュニティセンター	24名	2件
合計		108名	32件



ご意見・ご要望等とそれに対する市の回答の一部(要約)を紹介します。

## 石橋総合病院の移転整備について

**Q** 下野市が用地を確保する方針とのことだが。また、確保する面積はおよそどれくらいか。

**A** 石橋総合病院の譲渡にあたり、医療法人社団友志会は、これまで石橋総合病院が担ってきた役割を踏まえ、県や地元下野市とも協議をしながら、今後とも現在の診療機能、二次救急輸番等の政策医療についても確保していくとしており、県及び市に対して石橋総合病院の移転整備について支援協力の依頼が出されています。

具体的には、石橋総合病院が建築後40年を経過し老朽化が進んでいることから、移転新築を前提に考えており、県及び市に対してその際の支援をお願いしたいとしています。県には財政支援を、下野市には移転新築のための用地の確保と必要な関連公共事業という内容です。

公的医療機関としての機能の維持、小児科・産婦人科の復活、地域医療の更なる充実など、今回の病院の譲渡は本市にとって前向きに受け止めることができるものと考え、早速庁

舎内に「石橋総合病院移転問題検討委員会」を設置し、移転用地の確保等についての検討に入ったところで、

今後は、友志会及び県と十分に協議を進め、検討状況や進捗状況につきまして市民の皆様へ報告します。

現在の石橋総合病院の床面積は約1ヘクタールあります。厚生労働省が示している病院設置基準ですと、3・7倍の3・7ヘクタール必要になります。ただし、高層化など病院の建て方により面積が変化します。今後友志会などと相談しながら必要な面積を確保していくことになります。

**Q** 運営の基本方針として「産科・小児科の復活」を示しているが、移転整備された時点で復活ということか伺いたい。

**A** 医療法人社団友志会が示した基本方針の中に、産科・小児科の復活ということが示されています。これまでの関係者との協議のなかでは、具体的な時期は示されていませんが、今後、友志会、県及び市との3者による基本合意をまとめていく中で、はっきりしていくものと考えています。